

原 著

## 本学附属病院における卒直後研修教育の現状と課題

——第1報 平成12年度総合歯科受診患者の動向について——

庄野庸雄<sup>1)</sup> 芳賀健輔<sup>2)</sup> 有田正博<sup>3)</sup>  
進藤千恵<sup>1)</sup> 亀田めぐみ<sup>1)</sup> 寺下正道<sup>1)</sup>

### Present Status and Future Trends of the Post-Graduate Clinical Training Course at Kyushu Dental College Hospital ——Survey Report on the Out-Patients in General Dentistry Clinic——

Yasuo SHONO<sup>1)</sup>, Kensuke HAGA<sup>2)</sup>, Masahiro ARITA<sup>3)</sup>,  
Chie SHINDO<sup>1)</sup>, Megumi KAMEDA<sup>1)</sup> and Masamichi TERASHITA<sup>1)</sup>

#### 緒 言

平成11年7月、九州歯科大学新附属病院の竣工に伴って、卒直後歯科臨床研修の場として、総合歯科が新設された。総合歯科の設備としては、口腔外吸引装置完備の診療台29台（超音波スケラ、5倍速エンジン装備）と、大型機器としてマイクロスコープ1台（テレビモニタ装備）とハードレーザー1台を所有している。さらに、診療室に隣接して、シミュレーション実習のためのマネキン

室（ユニット5台装備）と、技工台48台（マイクロモーター、粉塵吸引装置、技工用実体顕微鏡装備）の研修医専用技工室があり、鑄造装置、レジン重合装置、ジェットプラスト等の技工設備を完備している。また、研修医セミナー室として定員20名の研修室（コンピュータ2台、液晶プロジェクタ1台、スライドプロジェクタ2台）1室を所有している。平成12年に専任教員（保存系）が1名、衛生士が2名配置され、2名の臨床研修歯科医（以下研修医）が総合歯科での研修を行った。

現在、本学では受け入れる臨床研修医の定員枠が、昭和63年臨床研修制度発足当時の12名から24名となり、総合歯科を含む、研修医の希望診療科に配属している。平成18年の歯科臨床研修制度の実施が決定し、歯科臨床研修の必修化に向けて、本学附属病院総合歯科にも学生定数（95名）に見合った多くの研修医を受け入れざるを得ないと考えられる。そのため、当附属病院へ来院する患者、とりわけ総合歯科に来科する患者の動向と症例数を把握する必要がある。

今回、平成12年度に総合歯科へ来科した患者の動向と2名の研修医が総合歯科で行った臨床研修の結果を通して、歯科臨床研修必修化へ向けた本

<sup>1)</sup> 九州歯科大学附属病院総合歯科  
(科長：寺下正道教授)

<sup>2)</sup> 九州歯科大学歯科保存学第2講座  
(主任：横田 誠教授)

<sup>3)</sup> 九州歯科大学歯科補綴学第1講座  
(主任：守川雅男教授)

<sup>1)</sup> General Dentistry Clinic of Kyushu Dental College Hospital (Chief: Prof. Masamichi Terashita)

<sup>2)</sup> Kyushu Dental College, Department of Periodontology and Endodontology (Chief: Prof. Makoto Yokota)

<sup>3)</sup> Kyushu Dental College, First Department of Prosthodontics (Chief: Prof. Masao Morikawa)

平成13年8月31日受付

平成13年12月17日受理